

第1編 水道事業

I 加古川市水道事業の経緯

I 加古川市水道事業の経緯

1. 沿革

加古川市が初めて水道布設を計画したのは、昭和6年（当時加古川町）のことでしたが、時期未だ熟せず、その後第2次世界大戦によって計画は挫折しました。

昭和25年6月15日に加古川町、神野村、野口村、平岡村、尾上村の5ヵ町村が合併し加古川市が誕生したのを契機に水道布設の気運が高まり、昭和25年12月市議会で水道布設事業が可決され、翌昭和26年2月7日に厚生省の認可を得ました。

その事業内容は、水源地を加古川町中津に求め、給水人口30,000人、1日最大給水量 $5,400\text{m}^3$ 、1人1日最大給水量1800ℓで、工期は昭和26年度から昭和28年度までの3ヵ年でした。しかし、その後別府町の合併による給水区域の拡張に伴い給水人口43,500人、1日最大給水量 $8,700\text{m}^3$ 、1人1日最大給水量2000ℓと当初の事業に変更を行い、工期を昭和26年度から昭和33年度までとしました。

昭和26年より工事中の中津水源地が完成して昭和28年4月15日給水が開始されましたが、その後の驚異的な経済成長と生活水準の向上等に伴って年々水需要は増加し、加えて工場誘致計画が進むなかで当時の既存施設では対応困難となりました。そこで、これらの水道施設増築並びに配水管の増延を図るため、第1次拡張事業を計画、実施することとなりました。その事業内容は、給水人口55,000人、1日最大給水量 $16,500\text{m}^3$ 、1人1日最大給水量3000ℓで、工期は昭和37年度から昭和40年度までとしました。ところが、給水区域が神野町に拡大することになり、第1次拡張事業の変更として神野水源地の新設を計画し、給水人口102,000人、1日最大給水量 $30,600\text{m}^3$ 、1人1日最大給水量3000ℓの事業を実施しました。

その後の急激な都市化の進展による人口の急増、産業の伸展等で水需要の対応が困難となったため、第2次拡張事業の実施が進められました。その事業内容は、給水人口95,600人、1日最大給水量 $45,600\text{m}^3$ 、1人1日最大給水量4000ℓで、工期は昭和44年度から昭和47年度までの4ヵ年とし、新たに大野水源地を設けるとともに配水管網の整備事業を実施しました。ところが、市東部地区で水不足の状態があらわれたため、変更事業を起こし東加古川水源地を新設し、また新神野に補水井を設け、神野水源地内に浄水施設を築造し、取水量の増加に努めてきました。

しかしながら、播磨臨海工業地帯の急激な発展とともに宅造等による都市開発の進展で水の需要量は年毎に増嵩してきたため給水区域を全市に広げ、工期を昭和48年度から昭和55年度までとし、中西条浄水場を新設し、給水人口201,700人、1日最大給水量 $110,000\text{m}^3$ 、1人1日最大給水量5400ℓに変更して、第3次拡張事業を実施しました。

昭和56年度から、将来の水需要を予測して、給水人口273,000人、1日最大給水量 $138,000\text{m}^3$ 、1人1日最大給水量5050ℓに変更して、加古川大堰からの1日最大取水量 $40,000\text{m}^3$ 、県水からの1日最大受水量 $31,900\text{m}^3$ を計画とした第4次拡張事業を実施してきました。

その後、水需要予測の見直しとともに、取水地点の変更及び紫外線処理設備の導入を行うため、目標年次を平成28年度とし、給水人口260,000人、1日最大給水量

111,500m³、1人1日最大給水量 429ℓ、県水からの1日最大受水量 43,600m³に変更した第4次拡張事業の変更認可を平成20年3月31日に受けました。

平成27年度には、水道局と下水道部が組織を統合し、4月1日より上下水道局となりました。

現在、基幹施設である中西条浄水場の更新を図るとともに、その他の施設や水源地等の耐震化を重点的に取り組んでいます。また、「老朽管更新（耐震化）計画」に基づき、基幹管路の更新・耐震化を最優先課題として、計画的に管路更新を進めています。

2. 水道事業経営認可関係一覧表

事業別 内容	創設事業	創設事業 変更	創設事業 変更	第 1 次 拡張事業	第 1 次 拡張事業 変更	第 1 次 拡張事業 変更	第 2 次 拡張事業
認可申請 年 月 日	S. 25. 12. 18	S. 26. 10. 30	S. 31. 3. 15	S. 36. 2. 21	S. 38. 11. 8	S. 39. 12. 26	S. 43. 11. 30
認可年月日	S. 26. 2. 7	S. 26. 11. 28	S. 31. 7. 5	S. 36. 12. 28	S. 38. 11. 26	S. 40. 2. 22	S. 44. 2. 13
認可番号	厚生省 兵 衛 第 27 号	厚生省 兵 衛 第 236 号	厚生省 兵 衛 第 644 号	厚生省 兵 衛 第 199 号	厚生省 兵 衛 第 424 号	兵庫 県 指 令 環 第 171 号	厚生省 環 環 第 80 号
給水区域	市内一円	—	市内一円	加古川町・尾 上町・別府町 (北別府を 除く。) 野口町・平岡 町	神野町を加え る。	平岡町高畑 県営団地を加 える。	—
給水面積 (km ²)	20.49	—	20.49	37.05	44.30	—	44.30
計画目標年度	S. 28 年度	—	S. 33 年度	S. 40 年度	S. 43 年度	—	S. 47 年度
行政区域内 人 口 (人)	49,832	—	71,815	91,648	94,554	—	110,134
計画給水区域 内人口 (人)	49,832	—	40,351	43,436	59,824	—	79,148
計画給水人口 (人)	30,000	—	43,500	55,000	102,000	—	95,600
1人1日平均 給水量 (ℓ)	120	—	133	200	200	—	280
1人1日最大 給水量 (ℓ)	180	—	200	300	300	—	400
時間最大 給水量 (ℓ)	270	—	300	450	450	—	600
1 日 最 大 給水量 (m ³)	5,400	—	8,700	16,500	30,600	—	45,600
工 事 期 間	S. 26～ 28 年度	—	S. 26～ 33 年度	S. 37～ 40 年度	S. 39～ 43 年度	S. 39 年度	S. 44～ 47 年度
総 事 業 費 (千円)	123,600	—	258,250	199,878	336,000	3,644	694,746
備 考	神野町 下ノ瀬水源 地	水源地の変 更 中津水源 地 新設			神野水源地 新設	県営高畑団 地 水源地新設	大野水源地 新設

事業別 内容	第 2 次 拡張事業 変更	第 2 次 拡張事業 変更	第 3 次 拡張事業	第 3 次 拡張事業 変更	第 3 次 拡張事業 変更	志 方 町 (合併によ る 廃 止)	第 4 次 拡張事業
認可申請 年月日	S.46. 3. 4	S.47. 1. 6	S.47.12.25	S.49. 8. 5	S.50. 2. 12	S.55.12.10	S.57. 2. 18
認可年月日	S.46. 3.31	S.47. 1.12	S.48. 3.31	S.49. 8.17	S.50. 3.24	S.56. 1. 6	S.57. 3.31
認可番号	厚生省 環 第 325 号	兵庫 県 指 令 環 第 45-44 号	厚生省 環 第 319 号	兵庫 県 指 令 環 第 33-28 号	兵庫 県 指 令 環 第 33-63 号	兵庫 県 指 令 環 第 55-36 号	厚生省 環 第 224 号
給水区域	—	—	市全域 (米田町を 除く。)	—	—	—	市全域 (米田町全 域及び志方 町一部を除 く。)
給水面積 (km ²)	44.30	—	97.05	—	—	—	116.33
計画目標年度	S.47年度	—	S.52年度	—	—	—	S.65年度
行政区域内 人口(人)	131,611	—	151,191	—	—	—	217,679
計画給水区域 内人口(人)	99,043	—	144,902	—	—	—	210,656
計画給水人口 (人)	95,600	—	205,000	—	—	—	273,000
1人1日平均 給水量(ℓ)	280	—	405	—	—	—	395
1人1日最大 給水量(ℓ)	400	—	540	—	—	—	505
時間最大 給水量(ℓ)	600	—	810	—	—	—	793
1日最大 給水量(m ³)	45,600	—	110,000	—	—	—	138,000
工事期間	S.46～ 47年度	—	S.48～ 52年度	—	—	—	S.56～ 65年度
総事業費 (千円)	1,066,851	10,684	6,456,110	—	—	—	11,451,924
備 考	新神野水 源地新設 神野浄水 場新設	東加古川 水源地新 設	中西条水 源地新設 東神吉水 源地新設	東神吉水 源地取水 点変更	鳩里水源 地新設	S.54.2.1 合 併	

事業別 内容	第 4 次 拡 張 事 業 変 更	第 4 次 拡 張 事 業 (第 2 期変更)			
認 可 申 請 年 月 日	H. 2. 11. 28	H. 20. 3. 25			
認 可 年 月 日	H. 2. 12. 25	H. 20. 3. 31			
認 可 番 号	厚 生 省 生 衛 第 8 3 3 号	厚 生 労 働 省 発 健 第 0 3 3 1 0 3 3 号			
給 水 区 域	—	—			
給 水 面 積 (km ²)	—	— ※			
計 画 目 標 年 度	H. 12 年 度	H. 28 年 度			
行 政 区 域 内 人 口 (人)	—	265, 992			
計 画 給 水 区 域 内 人 口 (人)	—	259, 917			
計 画 給 水 人 口 (人)	—	260, 000 ※			
1 人 1 日 平 均 給 水 量 (ℓ)	—	354			
1 人 1 日 最 大 給 水 量 (ℓ)	—	429			
時 間 最 大 給 水 量 (ℓ)	—	696			
1 日 最 大 給 水 量 (m ³)	—	111, 500			
工 事 期 間	S. 56～ H. 12 年 度	H. 18～ 28 年 度			
総 事 業 費 (千円)	17, 609, 544	15, 535, 174			
備 考	浄水方法の変更	取水地点の変更及び、 浄水方法の変更 ※軽微な変更による届出 ・計画給水人口を 265, 000 人に変更(H. 23. 3. 25) ・給水面積を 116. 83k m ² に 変更 (H. 23. 5. 6)			

3. 水道事業のあしあと

年 月 日	水 道 関 係 事 項	参 考 事 項
S. 25. 12. 17	水道布設事業の件議決	市制施行 (25. 6) 初代市長に浅見久夫氏が就任 (25. 7) 市議会議員 30 人選出 (25. 7) 市章決まる (25. 9)
26. 2. 7	水道創設事業認可	別府町を編入 (26. 10)
26. 11. 28	水道創設事業変更認可 (中津水源地新設)	
27. 3. 12	加古川市上水道使用条例公布	
28. 4. 15	中津水源地給水開始	
30. 1. 1	水道料金改定 (第 1 回)	八幡村、平荘村及び上荘村を編入 (30. 4)
31. 7. 5	水道創設事業変更認可 (給水人口の変更)	東神吉村、西神吉村及び米田町の一部を編入 (31. 9)
31. 10. 1	水道料金改定 (第 2 回)	
31. 12. 1	日岡山配水池使用開始	
32. 4. 1	地方公営企業法全面適用 水道課を水道事業所に名称変更	自主財政再建始まる (32. 3) 第 3 代市長に稲岡貞男氏就任 (33. 7) 高砂市阿弥陀町の一部を編入 (33. 7) 市制 10 周年、川西地区合併記念式 (35. 5) 地方財政再建準用団体の指定を受ける (36. 2)
36. 4. 1	水道料金改定 (第 3 回)	
36. 12. 28	第 1 次拡張事業認可 (給水人口の変更)	
38. 6. 18	加古川市水道事業給水条例公布	
38. 11. 26	第 1 次拡張事業変更認可 (神野水源地新設)	下水道整備 5 ヶ年計画始まる (38. 4) 県営神野団地造成に着手 (38. 4)
39. 4. 1	機構改革 (課の設置)	
39. 10. 10	坂元簡易水道を統合	
40. 2. 22	第 1 次拡張事業変更認可 (県営高畑団地水源地設置)	市の人口 10 万人突破 (40. 10) 平荘湖竣工 (41. 7)
42. 5. 1	神野水源地給水開始	臨海部の埋立始まる (42. 1)
42. 8. 14	一色簡易水道を統合	交通安全都市宣言 (42. 9) 加古川市長期基本計画策定 (43. 3) 神戸製鋼所厚板工場操業開始 (43. 4) 第 2 次公共下水道事業始まる (43. 4)
44. 2. 13	第 2 次拡張事業認可 (大野水源地新設)	公害防止で市・県・神鋼と三者協定結ぶ (44. 10)
44. 8. 11	福留簡易水道を統合	
45. 4. 1	O. A. A. 加圧ポンプ場稼働	金沢町生まれる (45. 1)
45. 8. 26	平岡加圧ポンプ場稼働	市の花、市の木決まる (45. 3)
45. 11. 25	八反田簡易水道を統合	市制 20 周年、市庁舎北在家に移転 (45. 5) 加古川市旗決まる (45. 5)
46. 3. 31	第 2 次拡張事業変更認可 (新神野水源地新設・神野浄水場新設)	初の大型予算編成 106 億円 (46. 3) 加古川市誌第二巻発刊 (46. 11)

年 月 日	水 道 関 係 事 項	参 考 事 項
S. 46. 4. 19	緑が丘簡易水道を統合	加古川市環境保全条例公布 (46. 12)
46. 5. 20	大野水源地給水開始	
46. 5. 23	西条加圧ポンプ場稼働	
46. 7. 26	長砂簡易水道を統合	
46. 10. 31	新神野取水井完成	
46. 12. 1	神野水源地に浄水施設完成	
47. 1. 12	第2次拡張事業変更認可 (東加古川水源地新設)	工業団地第1次開設 (47. 1)
47. 1. 26	東加古川水源地深井戸完成	
47. 4. 1	1ヵ月検針及び集金を、2ヵ月検針及び 集金に変更 分担金制度導入	
47. 10	日岡配水池配水停止	
47. 10. 1	坂井簡易水道を統合	
47. 11. 29	西井ノ口簡易水道を統合	
48. 3. 31	第3次拡張事業認可 (中西条水源地新設・東神吉水源地新設)	市民会館開館 (48. 1) 人間環境保全都市宣言 (48. 3) 加古川市基本構想決まる (48. 6) マリング市と姉妹都市提携を結ぶ (48. 7)
49. 8. 1	薬栗加圧ポンプ場稼働	行政事務にコンピューター導入 (49. 3)
49. 8. 17	第3次拡張事業変更認可 (東神吉水源地取水点変更)	加古川市総合基本計画を策定 (49. 6) 第7代市長に中田敬次氏就任 (49. 7)
49. 10. 1	中西条水源地に浄水施設完成	
49. 10. 25	水道庁舎完成	
49. 12. 4	中西条水源地給水開始	
50. 1	人事給与処理を市電子計算課に委託	第1回市民のつどい開催 (50. 1)
50. 3. 24	第3次拡張事業変更認可 (鳩里水源地新設)	
50. 8. 4	鳩里水源地完成	
51. 1. 3	鳩里水源地廃止	
51. 1. 7	城山配水池完成	
51. 4. 1	水道料金改定 (第4回) 用途別料金体系を口径別料金体系に変更	
51. 4. 1	分担金改定 (第1回)	
51. 4	上水道調定処理等を市電子計算課に委託	
51. 5. 8	中野簡易水道を統合	
51. 12. 1	宗佐簡易水道を統合	
52. 7. 1	機構改革 (2課新設)	
53. 4	収納管理等を市電子計算課に委託	市民病院新本館完成 (53. 6)
53. 10. 26	下村加圧ポンプ場稼働 野村、下村簡易水道を統合	

年 月 日	水 道 関 係 事 項	参 考 事 項
S. 53. 11. 26	西之山簡易水道を統合	
54. 1. 9	神野北簡易水道を統合	印南郡志方町を編入 (54. 2)
54. 1. 30	石守簡易水道を統合	人口 20 万人を超える (54. 2)
54. 2. 1	水道事業所を水道局に名称変更	交通非常事態宣言 (54. 7) 福祉都市宣言 (54. 12)
55. 7. 14	加古川大堰建設基本計画の同意 新規水利権 日量 40,000m ³	加古川市基本構想策定 (55. 3) 市制 30 周年記念式典 (55. 6)
56. 1. 6	志方町水道事業廃止	総合福祉会館開館 (55. 6)
56. 2. 1	小野栗栗簡易水道を統合	
56. 2. 下旬	異常低温による凍害事故多数発生	
56. 3. 25	特ダム法によるダム使用権認定	
56. 4. 1	水道料金改定 (第 5 回)	
56. 4. 2	中西条浄水場に浄水施設増設	
56. 6. 1	分担金改定 (第 2 回)	
57. 2. 6	神野東簡易水道を統合	
57. 3. 31	第 4 次拡張事業認可	核兵器廃絶都市宣言 (57. 3)
〃	東加古川水源地廃止	
57. 6. 1	機構改革	福祉コミュニティ条例制定 (57. 6)
58. 1. 31	汚泥最終処分地 (明治池) 完成	
58. 6. 11	加古川市上水道渇水対策本部設置 (6 月 2 1 日解散)	
58. 12. 26	平荘町西部簡易水道を統合	
59. 10	異常少雨による渇水対策 P R 実施 (~59. 12)	
60. 5. 1	福留配水池築造工事着工	加古川市史第 7 巻発行 (60. 6)
60. 8. 4	少雨により節水広報車出動 (~5 日)	総合文化センター開館 (60. 11)
60. 12. 20	井ノ口簡易水道を統合	加古川市総合基本計画 (1986~1990) 策定 (61. 4)
61. 4. 25	福留配水池完成	第 1 0 代市長に木下正一氏就任 (61. 6) 都市計画道路市役所駅前線開通 (62. 3)
62. 4. 28	福留配水池供用開始	リサイクルセンター完成 (62. 7) 情報公開制度試行開始 (62. 10) 市道平野・尾上線
63. 4. 1	水道料金改定 (第 6 回)	(旧国鉄高砂線跡地、鶴林新道) 開通 (63. 4)
63. 9. 27	加古川市内簡易水道協議会設立	キャプテンシステム稼働 (63. 9)
63. 11. 16	東神吉水源地送水開始	第 3 回国民文化祭開催 (63. 10)
63. 12. 21	河川法第 23 条許可水利権 40,000m ³ /日	天皇崩御、元号改正 (昭和⇒平成) (H元. 1. 8)
H. 元. 2. 22	加古川大堰取水開始 県水受水開始	消費税導入 3 % (H元. 4) (転嫁せず) 加古川市史第 1 巻発行 (H元. 4)
元. 9. 1	山角西部簡易水道を統合	カピル 21 (再開発ビル) 完成 (H元. 9)
元. 12	水道料金等未納者に対する給水停止を 実施	加古川下流域下水道事業着手 (H元. 10) ベルデモール加古川オープン (H元. 12)

年 月 日	水 道 関 係 事 項	参 考 事 項
H. 2. 8. 10	<p>濁水により広報車出勤・節水ビラ新聞折込みにより配布</p> <p>加古川大堰からの取水 10%カット (建設省・利水団体協議) 8/24 解除</p>	<p>加古川市基本構想策定 (H2. 3)</p> <p>青少年婦人センター開館 (H2. 4)</p> <p>市制 40 周年記念式典 (H2. 6)</p> <p>土曜閉庁方式 4 週 6 休制導入 (H2. 7)</p>
2. 11. 1	加古川下流部濁水調整協議会設立	第 1 回加古川ツーデーマーチ開催 (H2. 11)
2. 12. 25	<p>第 4 次拡張事業変更認可</p> <p>(浄水方法の変更:大野・東神吉水源地)</p>	鉄道高架関連事業都市計画決定 (H2. 12)
3. 1	<p>大野水源地・東神吉水源地</p> <p>除マンガン施設築造工事着手</p>	<p>下水道使用料改定 (H3. 4)</p> <p>緊急通報システム開始 (H3. 11)</p>
3. 4. 1	水道事業管理者設置	
3. 7. 26	水道事業総合計画策定委員会発足	
3. 8. 1	<p>大野水源地・東神吉水源地</p> <p>除マンガン施設完成</p>	
3. 10. 1	水道オンラインシステム稼働	
4. 3. 17	<p>水道水の異臭味 (カビ臭) 発生</p> <p>(活性炭投入処理により約 1 ヶ月で収束)</p>	<p>ニュージーランド国ワイタケレ市と姉妹都市提携 (H4. 5)</p> <p>カーパークつつじオープン (H4. 8)</p>
5. 4. 1	<p>水道料金改定(第 7 回) (内税 3%)</p> <p>分担金改定 (第 3 回) (内税 3%)</p>	<p>J R 山陽本線鉄道高架事業認可 (H5. 3)</p> <p>地方拠点都市地域に指定 (H5. 5)</p>
5. 4. 27	中西条浄水場汚泥機械脱水機稼働	<p>完全週休 2 日制導入 (H5. 7)</p> <p>ふれあいの森工作館開館 (H5. 7)</p>
6. 5. 30	山之上簡易水道を統合	加古川市人口 25 万人突破 (H6. 1)
6. 7. 28	<p>水道局濁水対策会議設置 (3/31 解散)</p> <p>異常濁水のため広報車、節水ビラの新聞折込等により、節水 PR</p> <p>加古川大堰からの取水 10%カット (建設省、利水団体協議)</p>	<p>ふれあいの森整備事業完了 (H6. 4)</p> <p>西条廃寺史跡公園オープン (H6. 4)</p> <p>松風ギャラリーオープン (H6. 4)</p>
6. 8. 1	<p>市民プール、スポーツセンタープール</p> <p>小・中・高等学校プール使用中止</p> <p>加古川大堰からの取水 30%カット (建設省、利水団体協議)</p>	
6. 8. 23	<p>加古川大堰からの取水 40%カット</p> <p>(建設省、利水団体協議) (9/26 解除)</p>	
6. 8. 24	<p>加古川市上水道濁水対策本部設置</p> <p>各町内会に節水依頼 (9/27 解散)</p>	
6. 8. 25	減圧給水開始(10%) (9/28 解除)	加古川地域保健医療情報システム稼働 (H6. 10)
6. 9. 16	<p>水道原水保全法に基づく水道原水水質保全事業の実施の促進を兵庫県に要請</p>	第 5 回加古川ツーデーマーチを日本マーチングリーグ公式大会として開催 (H6. 11)
7. 1. 17	<p>阪神・淡路大震災発生</p> <p>被災地に給水応援、復旧応援を行う (~3/12)</p>	<p>兵庫大学開学 (H7. 4)</p> <p>加古川歯科保健センターオープン (H7. 5)</p> <p>全国川サミット in 加古川開催 (H7. 8)</p>

年 月 日	水 道 関 係 事 項	参 考 事 項
H. 7. 7. 13	福留配水池増設工事着工	加古川市清流保全と水辺のまちづくり条例を施行 (H8. 1)
8. 2. 9	東神吉水源地増設工事着工	
8. 11. 8	福留配水池増設工事完成	加古川市行政改革大綱を策定 (H8. 3)
8. 12. 26	H6. 9. 16 に要請した「兵庫県地域水道 原水水質保全事業実施促進計画」策定	知的障害者総合支援センターオープン(H8. 4) 漕艇センターオープン (H8. 4) 「川の日」制定記念事業を開催 (H8. 7) BAN-BANテレビ開局 (H8. 12) 市役所新館完成 (H9. 2)
9. 4. 1	加古川市西部簡易水道を統合	消費税引上げ5% (H9. 4) (転嫁せず)
9. 5. 8	東神吉水源地増設工事完成	下水道使用料改定 (H9. 6)
10. 3. 16	兵庫県水道災害相互応援に関する協定 締結	加古川ウェルネスパークオープン (H9. 11) 全国公募第1回川の絵画大賞展開催 (H10. 2) 加古川運動公園オープン (H10. 4)
10. 4. 1	指定給水装置工事事業者制度施行	県指定文化財本岡家住宅を移築 (H10. 10)
10. 9. 24	五反坪簡易水道を統合	情報公開条例及び個人情報保護条例施行 (H11. 4)
11. 7. 26	中西条浄水場で水質連続監視装置運用開 始	みとろフルーツパークオープン (H11. 7) 加古川市行政改革推進計画策定 (H12. 2) 加古川市基本構想策定 (H12. 3)
12. 4. 1	東神吉町北部簡易水道を統合	加古川市環境基本条例施行 (H12. 4) 加古川市防災センターオープン (H12. 5)
12. 8. 1	加古川市が全国「水資源功績者表彰」を 受賞	下水道使用料改定 (H12. 6) ウェルネス都市宣言 (H12. 6)
12. 8. 28	水道局湯水対策会議設置 (9/12 解散) 異常湯水のため、各種節水 PR 実施、大 口需要者等への節水協力依頼 加古川大堰からの取水 農水40%・工水15 %カット、上水は自主節水 (建設省、利水団体協議) (9/12 解除)	市制50周年記念式典 (H12. 6) 加古川海洋文化センターオープン (H12. 7)
13. 4. 1	西条簡易水道を統合 上西条簡易水道を統合	加古川市総合計画策定 (H13. 3) 行革緊急行動計画策定 (H13. 3)
13. 8. 1	水道局ホームページを開設	スポーツ交流館オープン (H13. 11)
14. 3	検針業務にハンディターミナルを導入 (使用水量のお知らせ票を印字方式に変更)	第14代市長に樽本庄一氏就任 (H14. 6)
14. 10. 7	加古川市水道事業経営懇話会を設置	
15. 4. 1	古大内簡易水道を統合 中西条簡易水道を統合 すいどう出前講座の開始	新クリーンセンター完成 (H15. 3)
15. 4. 15	水道通水50周年パネル展開催	

年 月 日	水 道 関 係 事 項	参 考 事 項
H. 15. 6. 1	水道通水 50 周年記念事業 水道ふれあいウォーク	J R 山陽本線加古川駅周辺の高架が完成 (H15. 5)
15. 8. 18	加古川市水道事業経営懇話会より提言を受ける	土地区画整理事業完了に伴い水道局、市役所等の所在地番変更 (H15. 6)
15. 10. 6	水道料金コンビニ収納開始	
15. 11. 14	加古川市水道事業の経営効率化等推進計画策定	
16. 4. 1	水道料金改定 (第 8 回) (外税方式に変更) 分担金改定 (第 4 回)	下水道使用料改定 (H16. 4) 加古川駅南ミニ市役所オープン (H16. 4)
16. 7. 20	水道お客さまセンターを開設	
16. 8. 1	出河原簡易水道を統合	J R 加古川線電化開業 (H16. 12)
16. 12. 1	水道お客さまセンター業務の一部を民間事業者へ委託 中西条浄水場運転管理業務の一部民間委託の試行開始	J R 加古川駅新駅舎本格オープン (H17. 3) 総合体育館オープン (H17. 4)
17. 3	中西条浄水場整備基本計画を策定	
17. 4. 1	水道料金改定 (第 9 回) 池尻簡易水道を統合 水道お客さまセンター業務を民間事業者へ全面委託 中西条浄水場運転管理業務の一部を民間事業者へ本格委託	
17. 6. 27	水道局渇水対策会議設置 (9/15 解散) 異常渇水のため、各種節水 PR 実施、大口需要者等への節水協力依頼 加古川大堰からの取水 農水 33%・工水 15%カット、上水は自主節水 (国土交通省、利水団体協議) (7/1 解除)	I S O 14001 認証取得 (H17. 11) 加古川市後期総合基本計画策定 (H18. 1)
18. 3. 30	加古川市水道事業集中改革プランを策定	
18. 4. 1	水道料金改定 (第 10 回)	のじぎく兵庫国体開催 (H18. 9. 30~10. 10)
18. 4	中西条浄水場整備更新事業に着手 (~28 年度予定)	東加古川市民総合サービスプラザオープン (H18. 11)
18. 5. 1	北別府簡易水道を統合	J R 東加古川駅橋上駅舎完成 (H18. 11)
19. 3. 29	加古川市水道事業中期経営計画を策定	
19. 9. 8	中西条浄水場新管理棟・電気棟増築工事着工	J R 加古川駅南広場完成 (H20. 2)
19. 9. 15	中西条浄水場脱水機増設工事着工	J R 東加古川駅南広場完成 (H20. 3)
20. 3. 31	第 4 次拡張事業第 2 期変更認可 (取水地点の変更・浄水方法の変更)	第 90 回全国高等学校野球選手権大会に兵庫県立加古川北高等学校が初出場 (H20. 8)
20. 9. 30	中西条浄水場脱水機増設	

年 月 日	水 道 関 係 事 項	参 考 事 項
H. 21. 1. 20	見都井簡易水道を統合	市民病院に中央診療棟がオープン (H20. 11)
21. 3. 13	中西条浄水場新管理棟・電気棟完成	
	加古川市水道ビジョンを策定	こども療育センター開園 (H21. 4)
21. 11. 23	水道局庁舎移転(良野 398-1 へ)	平荘湖アクア交流館がオープン (H21. 7)
22. 3. 15	中西条浄水場発電機棟完成	加古川市基本構想を策定 (H22. 3)
22. 4. 1	水道お客さまセンターの休日営業開始	野口保育園を新築移転 (H22. 4)
22. 10. 31	西部水源地紫外線処理設備工事完成	市制 60 周年記念式典 (H22. 6)
22. 12. 10	鶴簡易水道を統合	
23. 3. 11	東日本大震災発生 被災地に給水応援を行う (3/16~4/21)	加古川市総合計画を策定 (H23. 3)
23. 3. 25	第 4 次拡張事業第 2 期変更届 (給水人口の変更)	
23. 5. 6	第 4 次拡張事業第 2 期変更届 (給水区域の拡張)	地方独立行政法人 加古川市民病院機構を設立 (H23. 4)
23. 11. 30	中西条浄水場ろ過池電気設備更新工事 完成	J R 加古川線厄神駅南広場が完成 (H23. 6)
24. 3. 9	高畑簡易水道を統合	
24. 3. 30	中西条浄水場中央監視設備更新工事完成	
24. 4. 1	加古川市水道局漏水修繕等業務委託締結	東消防署専任救助隊発隊と救助工作車更新 (H24. 4)
24. 11. 1	水道料金クレジットカード決済収納開始	
24. 12. 25	中西条浄水場送水ポンプ棟築造工事完成	オークランド市と姉妹都市提携 (H24. 5)
25. 2. 28	加古川市水道局ホームページのリニューアル	加古川市民ギャラリーを移転 (H24. 9)
25. 3. 15	中西条浄水場福留系送水ポンプ電気・機 械設備工事完成	「ウェルネスプランかこがわ」を策定 (H25. 3)
25. 4. 15	加古川市水道通水 60 年	高度救助隊「スーパーレスキュー加古川」発隊 (H25. 4)
25. 4. 26	良野簡易水道を統合	
25. 6. 1	加古川市水道通水 60 年記念スタンプラ リー開催 (6/1~8/31)	マリンガ市と姉妹都市提携 40 周年 (H25. 7)
25. 10. 31	明石市との連絡管設置	東播磨道と市道加古川中部幹線が開通(H26. 3)
26. 6. 30	中西条浄水場浄水処理施設 (1 系) 耐震補 強等更新工事完成	高機能消防指令センターの運用開始(H26. 4) 消費税引上げ 8 % (H26. 4)
26. 11. 28	中西条浄水場酸注入設備工事完成	第 1 7 代市長に岡田康裕氏就任 (H26. 7)
26. 12. 13	低区中央幹線通水開始 (福留配水池~市 道加古川中央線)	市民会館がリニューアルオープン (H26. 12)
26. 12. 20	高砂市との連絡管設置	
27. 2. 28	中西条浄水場城山系送水ポンプ等電気・ 機械設備更新工事完成	
27. 3. 13	東神吉水源地紫外線処理設備整備工事完 成 稲美町との連絡管設置	

年 月 日	水 道 関 係 事 項	参 考 事 項
H. 27. 4. 1	水道局と下水道部を組織統合し、上下水道局が発足 中西条浄水場運転管理業務を民間事業者に全面委託	人権文化センターがオープン (H27. 4) 市制 65 周年記念イベントを開催 (H27. 6~12) 加古川市まち・ひと・しごと創生総合戦略を策定 (H27. 10)
28. 7. 11	中西条浄水場浄水処理施設 (2 系) 耐震補強等更新工事完成	加古川市後期総合基本計画策定 (H28. 3) 加古川中央市民病院開院 (H28. 7)
28. 7. 26	新在家加圧ポンプ場完成	
28. 11. 11	城山配水池更新工事完成 (配水池切替運用開始 H28. 3. 11)	
29. 3. 27	東神吉水源地耐震補強等更新工事完成	
29. 9. 13	中西条浄水場表流水系取水施設更新工事完成	見守りカメラ設置開始 (H29. 10)
30. 3	広報基本方針を策定し、広報プロジェクトチーム発足	「かこがわアプリ」を配信開始 (H30. 3)
30. 7. 6	西日本豪雨発生 被災地に給水応援を行う (7/13~17)	
30. 7. 10	中西条浄水場浄水処理施設 (3 系) 耐震補強等更新工事完成	
30. 8. 29	中西条浄水場旧中央管理棟耐震化更新工事完成 (現：浄水施設棟)	
31. 1	広報紙「かこ水だより」発行開始	
31. 3	加古川市水道ビジョン 2028 策定	天皇退位 (H31. 4. 30)
R. 2. 2. 26	中西条浄水場着水井及び苛性ソーダ・PAC 注入設備等更新工事完成	即位の礼、元号改正 (平成⇒令和) (R 元. 5. 1) 消費税引上げ 10% (R 元. 10)
2. 5. 1	兵庫県が県営水道受水費の3ヶ月分の全額減免を行った事を受けて、6 か月間の水道基本料金の減免措置を実施 (R2. 6 月から順次実施)	新型コロナウイルス感染拡大に伴う緊急事態宣言 ①R2. 4. 7~5. 21 ②R3. 1. 14~2. 28 ③R3. 4. 25~6. 20 ④R3. 8. 20~9. 30 加古川市総合計画策定 (R2. 12)
3. 3. 25	都台ポンプ場更新工事完成 (都台配水槽の廃止)	
3. 11. 5	投松ポンプ場更新工事完成	新型コロナウイルスワクチン集団接種開始 (R3. 5)
3. 11. 17	福留配水池更新工事 (No. 1 配水池) において濁り水事故が発生。約 70,000 世帯に影響。 (11/17~19)	加古川図書館を移転 (R3. 10)
4. 3. 8	中西条浄水場 2 次濃縮槽耐震補強等更新工事完成	かこてらすオープン (R4. 4)
4. 6. 1	二俣簡易水道を統合	加古川市民交流ひろばオープン (R4. 6)
4. 12. 2	福留配水池耐震化更新工事 (No. 1 配水池) 完成	
5. 2. 9	中西条浄水場高架水槽更新工事完成	

年月日	水道関係事項	参考事項
R. 5. 3. 1	加古川市上下水道局ホームページのリニューアル	東播磨道（八幡稲美ランプ～八幡三木ランプ）部分開通（R5. 3）
5. 4. 15	加古川市水道通水 70 年	新型コロナウイルス感染症の法律上の位置づけが 5
5. 6. 15	加古川市上下水道局保管庫設置工事完成	類感染症に移行（R5. 5）
5. 10. 2	バーコード読み取りによる水道料金のキャッシュレス決済収納開始	インボイス制度開始（R5. 10）
5. 12	災害用応急給水栓設置工事完成	
6. 1. 1	能登半島地震発生 被災地に給水応援を行う（1/14～19）	
6. 3. 29	加古川市水道ビジョン 2028 中間検証報告書策定	

4. 令和5年度の事業概要

危機に強く安定供給ができる水道の構築を目指して、主要配水施設の福留配水池において、令和6年度の完成に向けて引き続き耐震化更新工事（No.2配水池）を行いました。

管路では、主要配水幹線である城山新神野高区配水幹線更新工事が完了しました。引き続き、城山水足高区配水幹線更新工事を進めるほか、その他の管路についても計画的に更新・耐震化を進めました。

一方、収入面では、新型コロナウイルス感染症の5類への移行に伴い、コロナ前の日常に戻りつつある中、給水人口の減少や節水機器及び商品の普及などにより、有収水量が3年連続で減少しており、今後も水需要の逡減傾向は続くと思込まれることから、水道事業の置かれた状況は厳しいと言えます。

しかし、安全な水道水を供給するという絶対的な使命を途絶えることなく将来へつなげていくため、『時代の変化を乗り越え 安全な水を未来へつなぐ』を基本理念とした「加古川市水道ビジョン2028」に基づき、将来を見据えた持続可能な経営を目指してまいります。

ア 業務の状況

本年度末の給水件数は118,596件で、前年度に比べ522件の増加（0.4%増）となりました。年間給水量は26,987,363 m^3 で、前年度に比べ530,148 m^3 の減少（1.9%減）となり、年間有収水量も25,384,983 m^3 で、前年度に比べ308,304 m^3 の減少（1.2%減）となりました。

なお、年間有収水量率は94.1%で、前年度数値に比べ0.7ポイント改善しています。

イ 経理の状況

事業収益は、給水収益が対前年度1.1%減の3,935,730,794円、営業外収益が対前年度11.0%減の477,283,780円、事業収益全体では前年度に比べ2.5%減の5,116,594,047円となりました。

一方、事業費用は、令和4年度に竣工した中西条浄水場高架水槽更新工事等に伴う減価償却費用の増加などで、前年度に比べ1.3%増の4,680,149,960円となりました。

したがって、本年度の決算収支では、436,444,087円の純利益を計上することとなりました。

